

はちのへ 市議会だより

平成26年9月定例会

No. 88

2014年(平成26年)10月20日発行



八戸市環境・健康フェスタ2014 健康まつり&環境展

9月28日に開催され、たくさんの方々でにぎわいました。

平成26年度八戸市一般会計補正予算などを可決

平成26年9月定例会は、9月2日から9月19日までの18日間の会期で開かれ、平成26年度八戸市一般会計補正予算、平成25年度一般会計・特別会計・企業会計決算など、議案25件、認定2件を可決して閉会しました。

主な内容

- 議案の賛否……………2～3ページ
- 主な議案……………3ページ
- 人事案件……………3ページ
- 請願・陳情の審査結果……………3ページ
- 決算などに対する各会派の意見…4ページ
- 一般質問……………5～6ページ
- お知らせ……………6ページ

平成26年度八戸市一般会計9月補正予算

一般会計補正予算額 28億1,920万7千円
(補正後の予算総額 915億5,706万2千円)

主なもの

- 八戸ワイン産業創出プロジェクト事業費……………3,125万8千円
(ぶどう栽培、ワイン産業の創出に関する調査研究等)
- 除雪経費……………3億8,500万円
(除雪業務委託料、融雪剤購入費等)
- 幼稚園就園奨励費補助金……………5,076万5千円
(保育園との負担格差是正のための補助限度額の拡充)

編集・発行 八戸市議会 八戸市内丸一丁目1番1号

TEL: 43-2111(内線403) / FAX: 47-0744

e-mail: gikaisho@city.hachinohe.aomori.jp

はちのへ市議会だよりは、市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp>

会派別議案賛否一覧表

○：会派全員が賛成 ×：会派全員が反対

区分	議案	会派名							議決結果	
		自由民主・市民クラブ	きずなクラブ	公明党	会派四季	日本共産党議員団	政新クラブ	無所属		
市長提出議案	予算	平成26年度八戸市一般会計補正予算 全2件	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		平成26年度八戸市国民健康保険特別会計補正予算	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		平成26年度地方卸売市場八戸市魚市場特別会計補正予算	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		平成26年度八戸市霊園特別会計補正予算	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		平成26年度八戸市介護保険特別会計補正予算	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
	人事	八戸市教育委員会の委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	同意
		人権擁護委員の候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	同意
	条例	八戸市市税条例等の一部を改正する条例	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市附属機関設置条例の一部を改正する条例	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市保育の実施に関する条例を廃止する条例	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市南郷へき地保健福祉館条例を廃止する条例	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
	その他	中部第10幹線下水道整備工事（三工区）請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		中部第10幹線下水道整備工事（四工区）請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		中部第10幹線下水道整備工事（二工区）請負の一部変更契約の締結	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		柳町根城線（柳橋）橋脚耐震補強工事（その3）請負の一部変更契約の締結	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		公有水面の埋立てに係る意見	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		市道路線の廃止及び認定	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市自動車運送事業欠損金の資本剰余金による処理	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決

区分		議案	会派名							議決結果
			自由民主・市民クラブ	きずなクラブ	公明党	会派四季	日本共産党議員団	政新クラブ	無所属	
市長提出 議案	認定	平成25年度八戸市一般会計及び各特別会計決算の認定	○*	○	○	○	×	○	○	認定
		平成25年度八戸市公営企業会計決算の認定	○*	○	○	○	○	○	○	認定
議員提出 議案	条例	八戸市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決
	その他	市長が専決処分できる軽易な事項の指定についての一部を改正すること	○*	○	○	○	○	○	○	原案可決

*山口広道議員は欠席。他の議員は賛成。
 ※議員個別の賛否状況については、市のホームページでご覧になれます。
 ※田名部和義議長は採決に加わっていません。

請願・陳情の審査結果

採択したもの

- 日本政府に核兵器全面禁止の決断と行動を求める意見書の採択を求める請願
- 看護師等の夜勤労働改善・増員を求める陳情

不採択となったもの

- 米軍垂直離着陸機MV22オスプレイの配備撤回、低空飛行禁止を求める請願

取り下げとなったもの

- 看護師等の夜勤労働改善・大幅増員を求める陳情

会派別所属議員

自由民主・市民クラブ	高山 元延 藤川 優里 島脇 一男 豊田 美好 松橋 知 大館 恒夫	伊藤 一喜 小屋敷 孝 三浦 隆宏 立花 敬之 秋山 恭寛 坂本 美洋	工藤 悠平 森園 秀一 壬生八十博 吉田 淳一 山口 広道
きずなクラブ	田中 満 田名部和義 五戸 定博 吉田 博司	三浦 博司 下田 保夫 八嶋 隆	冷水 保 古舘傳之助 石橋 充志
公明党	夏坂 修	前澤 時廣	
会派四季	坂本 眞将	大島 一男	
日本共産党議員団	田端 文明	松田 勝	
政新クラブ	高橋 一馬	西村 吉晴	
無所属	伊藤 圓子		

主な議案

○八戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援法の施行に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めるためのもの

議員提出議案

○八戸市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例

議会の議決すべき事件として総合計画の策定等を追加するためのもの

○市長が専決処分できる軽易な事項の指定についての一部を改正すること

条例の主旨を変更しない範囲の字句の修正並びに法令の改正または廃止に伴い引用法令名、引用条項等の整理に関する条例の改正をすることについて、市長が専決できるように見直しするためのもの

人事案件

○八戸市教育委員会の委員に、次の方を任命することに同意しました。

やな せ まちお
築 瀬 眞知雄 氏

○人権擁護委員の候補者に、次の方を推薦することに同意しました。

いた ばし こう しょう
板 橋 宏 勝 氏

決算などに対する各会派の意見

平成25年度の一般・特別・企業会計の決算および関連議案は、9月10日から12日までの3日間の日程で開催された決算特別委員会で審査し、9月19日の本会議で全議案とも賛成多数で認定・可決されました。その際、各会派が討論を行いましたので、その要旨を掲載します。

自由民主・市民クラブ

全議案に賛成

一般会計・各特別会計決算では、全ての事務事業において必要性・緊急性・効率性の観点から見直しを行い、財政健全化と行財政改革の推進に配慮し、第5次八戸市総合計画後期推進計画に定めた地域活力の創出のための戦略プロジェクトを中心とした市政発展上重要な施策に重点的に配分するとともに、積極的に新規事業にも取り組み、最小の経費で最大の効果を上げていることを高く評価する。

自動車運送事業では、今後とも一層の経営健全化に努め、安心・安全で多くの方々に利用される市営バスの実現に向けて取り組むことを要望する。

市民病院事業では、地域のニーズに即し、また先進的な医療提供に積極的に取り組みながらも、5年連続の黒字決算となったことを高く評価する。

公明党

全議案に賛成

一般会計・各特別会計決算では、八戸市復興計画の基本方針に基づき各種施策を推進し、また、第5次八戸市総合計画後期推進計画に定める戦略プロジェクトを中心に、予算の効率性を最大限高め、選択と集中に徹した行政運営や財政健全化を図ったことを高く評価し、今後も限られた財源を効果的に市民生活の福祉向上に向けていくよう要望する。

自動車運送事業では、資金不足比率0%を達成したことに敬意を表し、今後も経営改善を推し進め、市民の信頼を得られるよう努めることを要望する。

市民病院事業では、収益の確保を図りながら良質な医療の提供に努めてきたことに敬意を表し、引き続き経営健全化に努めるとともに、地域の基幹病院としての役割を果たすことを期待する。

日本共産党議員団

一部の議案に反対

一般会計・各特別会計決算では、小中学校のトイレ改修工事などは評価するが、指定管理者制度における事業の透明性について市が責任を持って指導しなければならない点や、除雪について抜本的な見直しが必要な点などを指摘しなければならず、また、国民健康保険特別会計において、国に対して大幅な国庫負担増を求めるとともに、保険料の引き上げを行わないことを要望することから、反対する。

自動車運送事業では、運転業務に携わる嘱託職員の報酬改善と、今後も市民の足を守る役割を果たすことを要望し賛成する。

市民病院事業では、医師派遣事業などを評価し、今後も、地域の中核的医療施設としての役割を果たすことを要望し賛成する。

きずなクラブ

全議案に賛成

一般会計・各特別会計決算では、八戸市復興計画や第5次八戸市総合計画後期推進計画に掲げた施策に取り組む一方で、基金残高の維持などにも注意を払うといった難しい行政運営を強いられている中、黒字決算となったことは、健全な財政の維持がなされたものとおおむね評価しており、引き続き、市民目線に立った、より実効性のある事業展開を求める。

自動車運送事業では、資金不足解消に鋭意努力している姿勢は評価しているが、地域公共交通を取り巻く環境は、人口減少や燃料費の高騰などにより厳しい状況にあることから、さらなる経営健全化に取り組むことを期待し、市民病院事業では、5期連続で黒字決算となったことを高く評価し、今後も安定的かつ継続的なサービスが図られるよう期待する。

会派四季

全議案に賛成

一般会計・各特別会計決算では、厳しい財政環境の中、有利な財源を活用し、財政の健全性を確保しながら市民生活の向上を図ったことを高く評価し、地域担当職員制度を活用した職員の資質向上やボランティア活動支援事業の拡大など、強く元気で美しい八戸の構築に向けて施策のさらなる強化を求める。

自動車運送事業では、市内路線バス上限運賃化を本格実施し、利用者増となったことを高く評価するとともに、収支において純利益を計上し、資金不足比率0%を達成したことに敬意を表する。

市民病院事業では、採算性を発揮しながらも、良質な医療を提供し続ける体制づくりと運営により、内外から高い評価を得ていることに敬意を表し、今後も地域医療の質の向上に努めるよう要望する。

政新クラブ

全議案に賛成

一般会計・各特別会計決算では、厳しい財政環境の中、東日本大震災からの復旧・復興に向け、地域再生の基礎づくりとなる復興施策に果敢に取り組んできたことに敬意を表するとともに、今後も創造的復興施策を強く展開し、当市の将来像である海と大地が響きあう北の中核都市を実現し、第5次八戸市総合計画の集大成に向け取り組むよう期待する。

自動車運送事業では、業務の効率化や経費削減などの経営健全化の努力に対し敬意を表し、今後も健全な財政運営の維持に努めるよう切望する。

市民病院事業では、5年連続で不良債務に当たる資金不足額が生じなかったことを高く評価するとともに、収益の確保と経営健全化に努め、引き続き地域医療の質の向上にまい進するよう要望する。

一般質問

奨学金制度の拡充を

公明党
前澤 時廣

【問い】 返済不要な給付型の奨学金制度を導入すべきと考えるが、所見を伺いたい。

【答え】 当市の奨学金制度は、経済的な理由により修学が困難な方に無利子で学資を貸与するもので、一般奨学金と条件付きで償還免除となる特別奨学金がある。

現行制度は、募集定員に対し応募者の少ない区分があり、学生としては、奨学金制度を利用したくても、将来の返済に対する不安が少なからずあるものと考えられる。市教育委員会では、現行の貸与型奨学金制度を見直すとともに、給付型の奨学金を平成27年度から導入し、制度の拡充を図っていきたいと考えている。

八戸自転車競技場へ観客席の整備を

日本共産党議員団
田端 文明

【問い】 八戸自転車競技場には

観客席がなく、観客はトラック外周のフェンス越しに観戦しているが、今後、観客席を整備する考えはないか伺いたい。

【答え】 同競技場は、青森県体育協会が事業主体となり、昭和51年4月に設置され、現在も同協会が所有している施設で、当初は多くの観客を動員するほどの大会の開催を想定していなかったことから、観客席は整備されていない。



八戸自転車競技場

観客席の必要性については、青森県自転車競技連盟や八戸自転車競技協会など、施設を利用する各競技団体から同競技場の今後の活用方法などの意見を聞いた上で、

検討していきたい。

ユニバーサルツーリズムへの対応は

きずなクラブ
三浦 博司

【問い】 ユニバーサルツーリズムに対応した観光地づくりについて伺いたい。

【答え】 ユニバーサルツーリズムとは、年齢や障がいなどの有無に関わらず全ての人が楽しめるようにつくられた旅行のことである。

八戸観光コンベンション協会では、青森県三八地域県民局の委託を受け、八戸地域の観光施設などのバリアフリー化の状況を示した八戸広域観光サポートガイドの作成などを行ったところである。

また、市が所管する観光施設などについてもバリアフリー化を行っており、ユニバーサルツーリズムに対応した観光地づくりを進めている。

緩和ケア病棟整備に向けた検討委員会の早期設置を

無所属
伊藤 圓子

【問い】 検討委員会の設置など、市民病院への緩和ケア病棟整備に

向けた今後のスケジュールについて伺いたい。

【答え】 病棟整備に関する基本的な事項について検討していただくため、有識者で組織する緩和ケア病棟整備検討委員会を設置し、本年11月に1回目の委員会を開催したいと考えている。

なお、委員については、医療関係団体などからの推薦のほか、市民からの公募も予定しており、9月20日から募集を開始する。

同委員会においては、先行施設の視察などを行いながら、施設の規模、内容などについて検討していただきたいと考えている。

公共施設の維持管理についての考え方は

公明党
夏坂 修

【問い】 公共施設等総合管理計画策定の考え方とスケジュールについて伺いたい。

【答え】 本年4月に国より策定要請のあった同計画は、所有施設の全体状況を把握し、計画的に管理を行うことで、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設などの最適な配置の実現を目的としており、その策定と推進は持

続可能な市政運営のための行財政改革の一環であると考えている。

現在策定中の第6次八戸市行政改革大綱においても、新たな改革の柱として、「財産・資産の適正管理」を設けることとしており、平成28年度までのできるだけ早い時期の同計画策定を目指している。

斎場の現状と今後の対応は

自由民主・市民クラブ
高山 元延

【問い】 老朽化が進む斎場の現状と今後の対応について伺いたい。

【答え】 増加し続ける火葬件数に対応するため、平成9年度と平成24年度に火葬炉を1基ずつ増設し、待合室も平成9年度と平成25年度に1室ずつ増設・改修しているが、現施設の中では、これ以上の増設は困難な状況にある。

また、供用開始から33年が経過し、施設の老朽化が進んでいることや、告別室・収骨室の個室化など、市民のニーズに合った施設にする必要があることから、現在、先進地事例の調査を行うなど、将来の斎場の在り方について検討しているところであり、増加する火葬件数に対応できるよう、さらに検討を進めていく。

一般質問

中核市としての将来ビジョンは

きずなクラブ

石橋 充志

【問い】 中核市移行後の将来ビジョンを示すべきと考えるが、所見を伺いたい。

【答え】 中核市移行により、身体障害者手帳の交付などの福祉サービス、感染症の予防対策などの保健衛生サービスをはじめとする県の事務権限の多くが移譲されることで、より自主性・自律性を発揮し、市の実情に合わせた施策を実施できるものと考えている。

当市は、これまでも北奥羽地域を代表する都市として中核を担ってきたが、平成28年度内の中核市移行を契機に、地域経済のけん引役として、また、高次の都市機能の担い手として、存在感や知名度をより一層高めるとともに、拠点性をさらに強化していきたい。

空き家等の適正管理に関する条例制定後の取り組みは

日本共産党議員団

松田 勝

【問い】 条例制定後の取り組み状況について伺いたい。

【答え】 空き家の現地調査や所

有者調査を行い、所有者などに対処を依頼し、放置した場合は条例により指導する旨をお知らせした結果、これまで一度も市に連絡がなかった所有者から連絡があったケースや、空き家が解体されたケースもあった。

現在、未解決となっている空き家の所有者などに対し、条例に基づく助言・指導を行うべく準備を進めており、中には未登記や相続放棄など、対処が難しいケースも見受けられるが、所有者などの特定に努め、条例に基づき粘り強く行政指導を続けることで、市民の安全・安心を確保していく。

高齢者はり・きゆう・あんま マッサージ施術費助成事業のさらなる周知を

きずなクラブ

田中 満

【問い】 同事業を高齢者へさらに周知し、利用者を増やす考えは。

【答え】 同事業は、高齢者などの心身の機能促進と健康増進を図ることを目的に、市内に居住する70歳以上の高齢者や、65歳以上の身体障がい者および愛護手帳所持者に対し、市指定施術所での利用料の一部を助成するものである。

市では、広報はちのへおよびホームページへの掲載や、70歳を迎える方に送付する高齢者のパス券交付案内にチラシを同封し周知しているが、今後は、高齢者と接する機会が多い民生委員などの関係者から意見を聞くなど、より効果的な周知方法を検討し、新規利用者が増えるよう努めていく。

DV被害の現状と対策は

政新クラブ

高橋 一馬

【問い】 市内行政窓口へのDV相談件数の推移と現状および相談窓口の周知方法について伺いたい。

【答え】 市の家庭（児童）女性等相談室への相談件数は、平成23年度132件、平成24年度114件、平成25年度113件で、三戸地方福祉事務所に設置されている配偶者暴力相談支援センターへの八戸市分の相談件数は、平成23年度98件、平成24年度95件、平成25年度118件と、ほぼ横ばいに推移しており、最近の相談内容の傾向としては、夫が生活費を渡さない経済的DVなどが多く見られ、被害者の多くは女性である。

相談窓口については、広報はちのへや市ホームページへの連絡先の掲載や、DV防止講習会の開催などにより周知を図っている。

成長産業の誘致を

自由民主・市民クラブ

工藤 悠平

【問い】 自動車産業や航空機産業といった成長産業の誘致に向けた取り組みについて伺いたい。



自動車部品製造の様子

【答え】 自動車産業については、当市の誘致企業が持つオンラインワーク技術やネットワークを活用し、生産拠点のみならず、研究開発拠点の形成にも取り組んでいく。

航空機産業については、地元企業が航空機部品の設計・製造メーカーから指導を受けながら、試作品づくりなどを通じて航空機産業に参入できるよう取り組んでおり、

今後は、航空機産業における認証などの資格取得に対する支援制度などを検討していく。

これら成長産業の誘致については、当市の持つ交通インフラの充実などの強みを生かし、積極的に取り組んでいきたいと考えている。

お知らせ

市議会の傍聴ができます

本会議、常任・特別委員会、常任委員会協議会および議員全員協議会は、どなたでも傍聴することができます。

また、車いすの方は、市庁本館3階の議会事務局で、本会議のテレビ視聴ができます。

9月定例会では、36人の傍聴者がありました。次期定例会は、12月に開催します。

なお、9月定例会の会議録は、12月に発行する予定です。

声の市議会だより

市議会では、視覚障がい者や高齢者の方のために、朗読ボランティア団体「やまびこの会」が朗読した「はちのへ市議会だより」の音声データをホームページで公開していますので、ご利用ください。